

ひろば大代

平成6, 4, 25

大代公民館

公民館長辞任に際して

下市 田辺 孝

このたび平成六年三月三十一日付をもちまして大代公民館長職を辞任いたしました。

実は心臓病を患い、これ以上職務を遂行することができません。よって辞任いたしましたわけでありませう。

頼りみまずと教職を定年退職したとたん元橋本公民館長の誘いで公民館運営委員を始めとし、来し方八年間公民館活動に従事して参りました。

これまで町民の皆様方の尊いご協力ご支援によって、公民館活動が各種団体に根を下ろし、コミュニティの拠点として住民による住民の為の住民の公民館の促進に努めていただきました事に対して厚く御礼申し上げます。

特に都市とふる里を結ぶ交流会も八年間継続してきました。それは大代住民の喜びであり誇りに思っております。

はないでしょうか。関西高山会も結成されました。交流会によって目に見える物、見えない物もありますが、物心両面のご支援を受けながら町が潤ってきたことは事実であります。都会地に住生活を求めた人達が故郷を懐かしみ、いとしく思う人達とふれ合うことは、より豊かな人間関係を深めることになります。そこに大代町の活性化が推進されてきたと思えます。

公民館における社会教育とは何か、それは『自ら学び続ける心豊かな人達の集まりづくり』を目指しています。

今後は学識豊富な渡館長のもとに、「住みよい大代」「明るい大代」の町づくりを一層進めて頂きたいと念じます。

これからは皆様から賜りました教訓を支えとして、日々を大切に有意義に過ごしたいと思えます。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



公民館長就任のご挨拶

植松 渡 吉正

前館長田辺孝氏ご勇退の後を承けて大代公民館運営委員会のご推薦により四月一日、大田市教育委員会から委嘱状を頂き館長に就任致しました。

不肖私はその器量ではありませんが今から二十六年前の昭和四十三年四月に大田市教育委員会辞令により、大代公民館勤務を命ぜられ、主事として一年四カ月を勤務した経緯があります。

これは奇しくも因縁という外はありません。当時館長は浄土寺のご院家の原田秀興師でありました。私が館長になろうなぞとは夢にも思ってもみませんでした。

しかし、お引受けしましたからには懸命に努力して任務を遂行したく存じますので、町内外の皆様温かいご支援を頂きますよう心からお願い申し上げます。

さて大代公民館の平成六年度の社会教育方針——実践目標は

「大代町全体を公民館として考え、町民全員が親しみを持って相互交流を

深めて郷土愛を醸成し、うるおいのある、より豊かな文化生活を目指して活力ある町への再生をはかる」考えてあります。

どうか皆様方の一層のご協力を切にお願い申し上げます。

人事異動 (敬称略)

〓 四月の人事・役員交替 〓

大代町では春の人事異動で次の通り転出、転入或は役員の改選がありました。公民館では今回四年に亘って都市交流や花いっぱい、地域の活性化の為努力頂いた田辺館長がご勇退され、替わって渡吉正氏が任命されました。

◆ 公民館長 植松 渡 吉正

◆ 公民館運営委員 (委員長★) 十名
市議市原仁郎、自治連合会長高村貢
小学校長布野伸一郎、農業委員谷口俊美、農協理事泉朋納、婦人会長後藤マサエ、一般★日向高弘、森信子
谷口浩、長谷保孝

◆ 自治会

上市 渡利春美、八反田 高村 貢
下市 森 守、本郷 横 明完
植松 笠井利雄 山田 坂本静雄

四日市渡利正昭、平 笹木光夫

椿 縄手和雄、上飯谷 門脇祥造

柿田 石川恒儀、下飯谷飯田須美子

川上 笠井節夫、弓久 高村利乗

下谷 船木佐津江、右原 中垣土夫

◆ 自治会連合会役員

会長 高村 貢

副会長 高村利乗、縄手和雄

監事 森 守、坂本静雄

幼稚園運営審議会議長 高村 貢

大代地区社会福祉支部長笹木光夫

大代消防後援会長 中垣土夫

交通対策協議会々々長 笠井利雄

有線放送協議会地区総代 横明完

◆ 大代交通安全協会役員
会長 市原仁郎、副会長 泉 朋記

監事 熊谷徳夫、齋藤正治

会計 窪田 忠

◆ 大代体育協会

会長 横手昌則

副会長 谷口 浩、権原 広

事務局 田辺 優

◎ 転出

◆ 大代小学校から

校長 山本伸男 大田市立静間小へ
主事 森山 訓 温泉津中学校へ

◆ 大代中学校から

校長 川上 誠 出雲市立長浜小へ

教諭 三代恵美子 松江市立第二中へ

講師 山根恵美子 辞職

◆ 石見銀山農協大代支所

支所長 沖 昌国 退職

経済係 今田文字 退職

◎ 転入

◆ 大代小学校へ

校長 布野伸一郎 鹿足郡朝倉小より

主事 安田あけみ 湯里小学校より

◆ 大代中学校へ

校長 齋藤雅信 大田市立朝波小より

教諭 小野寺聡子 大社町立大社中より

講師 中尾恵里佳 新採用

◆ 石見銀山農協大代支所へ

支所長 藤田寛郷 (昇任)

経済係 中島信博 井田農協より

〓 所感 〓

公民館長田辺孝氏勇退に想う

関西高山会事務局長 中本 弘

春の風物詩の一つ、出逢いの楽しみとお別れのちよっぴりした淋しさがあ。諺に「逢うは別れのはじめ」とか。

田辺公民館長のこの度の勇退される
に對してその意味を深くし感慨も一し
おと感じるもの一人である。

館長田辺氏との出会いは関西高山会
結成にはじまる。

東京には東京石見高山会が結成され
ており、それと同様の会を大阪在住の
大代町出身者でつくっていただけない
だろうかとの話がきっかけであった。

当時若輩者の私にとって荷が重すぎ
るのではないか。また大代町を出てす
でに三十年余り経過している等々から
やや尻込みの気持ちがあったのも事実
であった。

しかし田辺氏のふる里を想う気持ち
その情熱に感動した。私も当時五十歳
を越えており、今まで「生きる」のみ
に全精力を尽くしていたが、今後は「
生かされている」という意識に発想を
転換しよう。一寸ふる里の事をお手伝
いをしてもらいたいではないかという気持
になった。

関西高山会発足に對して現会長の市
原・副会長田辺・曾根・各氏も心よく
引き受けていただきスムーズに船出を
した。更に嬉しかったことは、過疎と

高齢化の町ふる里大代町を想う心の強
い館長、市原市会議員、そして婦人会
長との方々を中心にした人の和（輪）が
強いことであった。

事のほか勇退される田辺氏のその情
熱は、書かれた論文の文面、行間に書
き記され、私共の胸にひしひしと伝わ
ってきた。

人間一生のうちに必ず出番、存在感
を示す時があり、タイミングよい出番
を持つかどうかはその人の運命を決す
ることもある。その出番、存在感は、
その人の一生懸命な心に左右される。

田辺氏は大代町発展の為その存在感
をつくられその能力を充分発揮された。
今回勇退に際し、一抹の淋しさを感じ
るがまだ出番はきつとあると確信して
いる。それまで充電する意味も含め、
ゆっくりしてほしいと思う。

次期公民館長は渡氏と聞いており、
又大代町発展の道すじは出来ているし
これから関西高山会も出来る限りふる
里のため支援をしたいと思う。最後に
石川琢木の歌により惜別の辞としたい。
「ふる里の山に向かい言うことなし
ふる里の山はありがたきかな」

4月の行事

- ◆11日（月）幼・小・中入学式
- ◆17日（日）福祉弁当
- ◆18日（月）運営委員会
- ◆22日（金）連合自治会
- 5月行事予定
- ◆5日（日）こどもの日 飯盒炊飯

おしらせ

◆社協大代支部から

椿 山口富士枝様より

香典返しに替え金一封の御厚志を御
寄付頂き、厚く御礼申し上げます。

☆——☆——☆

※編集後記

この度、編集委員の日向高弘、熊谷
徳夫、飯田徹、藤井房子、田辺孝、各
氏が任期満了三月末で勇退され、新し
く市原仁郎、谷口浩、長谷保孝、森信
子、渡吉正、横田美恵子、各氏が任命
されました。

これからも、編集委員一同皆様のお
手元へ、館報によって大代町の情報や
近況などお知らせ致したいと思いま
すので皆様、尚一層の御協力の程よろ
しくお願い致します。